

株式会社ミマキエンジニアリング 個人投資家向け会社説明会

2019年9月3日

NEW

JV300-130Plus



(2019年9月発売)

NEW

CJV300-130Plus



(2019年9月発売)

Mimaki
3D Printer

3DUJ-553



UCJV300-130



JFX200-2513 EX



TS55-1800



UJF-6042 MkII



東証一部上場

証券コード
6638

プロフィール



設立	1975年8月
資本金	4,357百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3
代表者	代表取締役会長 池田 明 / 代表取締役社長 池田 和明
従業員数	連結：2,051名 / 単体：841名 * 2019年6月末現在
グループ会社	<p>◆産業用インクジェットプリンタ関連 (計20社) * 2019年6月末現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売関連：13社 <ul style="list-style-type: none"> 欧州 : ミマキEUROPE(オランダ) *、ミマキドイツ、ミマキEURASIA(トルコ)、ミマキBompan(イタリア) 北米、中南米 : ミマキUSA、ミマキブラジル アジア・オセアニア : 上海御牧、ミマキインドネシア、ミマキシンガポール、ミマキオーストラリア、ミマキインド、台湾御牧*、ミマキ(タイランド) (*製造事業も展開) ・開発、製造関連：7社 <ul style="list-style-type: none"> 国内 : (株)ミマキプレジジョン 中国 : 浙江御牧、平湖御牧 欧州 : ミマキEUROPE、ミマキLM(イタリア)、ミマキロシア 台湾 : 台湾御牧 ・プリントサービス関連：2社 <ul style="list-style-type: none"> 国内 : (株)グラフィッククリエーション、(株)楽日 <p>◆アルファードesignグループ (計6社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発、製造関連：2社 <ul style="list-style-type: none"> 国内 : アルファードesign(株)*、(株)アルファードシステムズ* (*販売も行う) ・販売関連：3社 <ul style="list-style-type: none"> 中国 : 大連阿爾法設計有限公司、阿爾法自動化技術有限公司、上海分公司 ・金属加工関連：1社 <ul style="list-style-type: none"> 国内 : (株)砺波製作所
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 / 証券コード 6638
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株 = 100株) * 2019年6月末現在

長野県東御市



*印は
各1社としてカウント

ミマキは、創業の地名「北^{ミマキ}御牧村」に由来します

御牧とは…

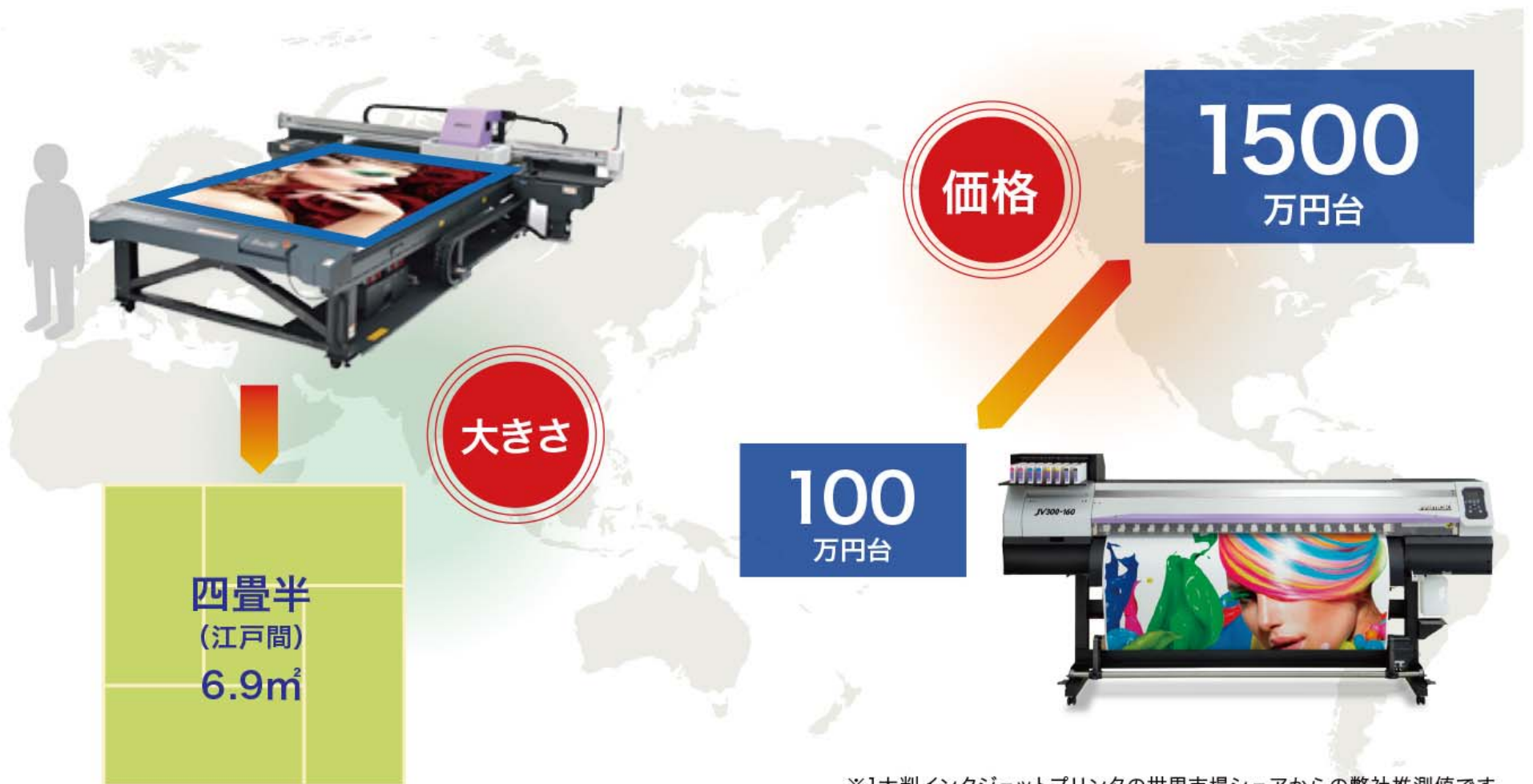
- 平安時代、朝廷の御料牧場が存在
- 標高800mの台地で良質の馬を飼育



旧北御牧村



産業用インクジェットプリンタにおける 世界のトップメーカー※1



※1大判インクジェットプリンタの世界市場シェアからの弊社推測値です。

1

独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「**開発型企业**」を目指します。

2

顧客に満足いただける製品を素早く提供する**小回りの利いた会社**を目指します。

3

市場に常に「**新しさと違い**」を提供する**イノベーター**を目指します。

4

各人が持っている**個性・能力**を**力一杯発揮**できる**企業風土**を目指します。



デジタル・オンデマンド生産

ものづくり現場の変化

環境ニーズ

- 廃インク水質汚濁
- 洗浄水使用量

エコロジー

絵柄部分だけに
インク吐出
版を洗う廃液なし

多品種・小ロット

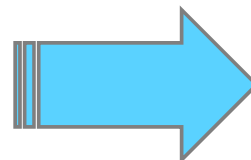
在庫
リスク



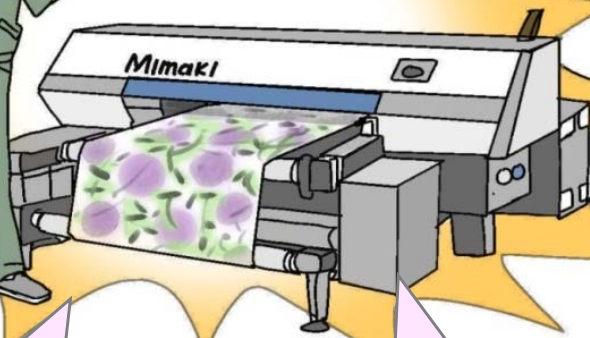
ニーズが
読めない!



小ロット



デジタル印刷が 解決!



消費者ニーズ

- デザインの個性化
- 流行サイクルの短期化
⇒ファストファッション



在庫圧縮

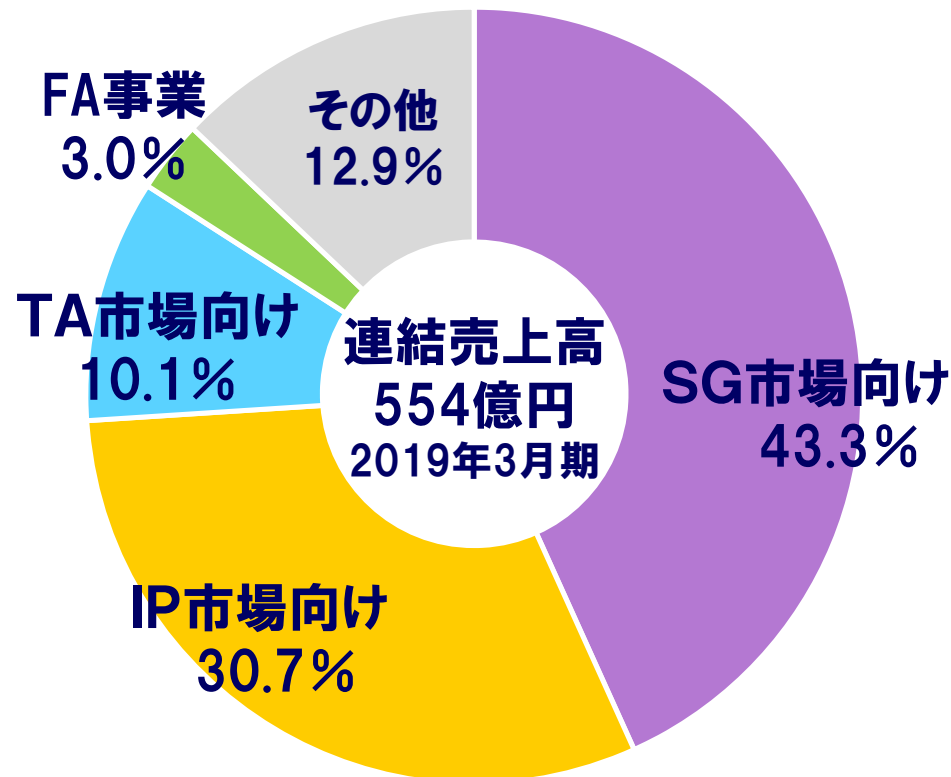
受注数だけプリント
白モノ在庫を即日仕上げ
在庫リスク大幅削減

クイックレスポンス

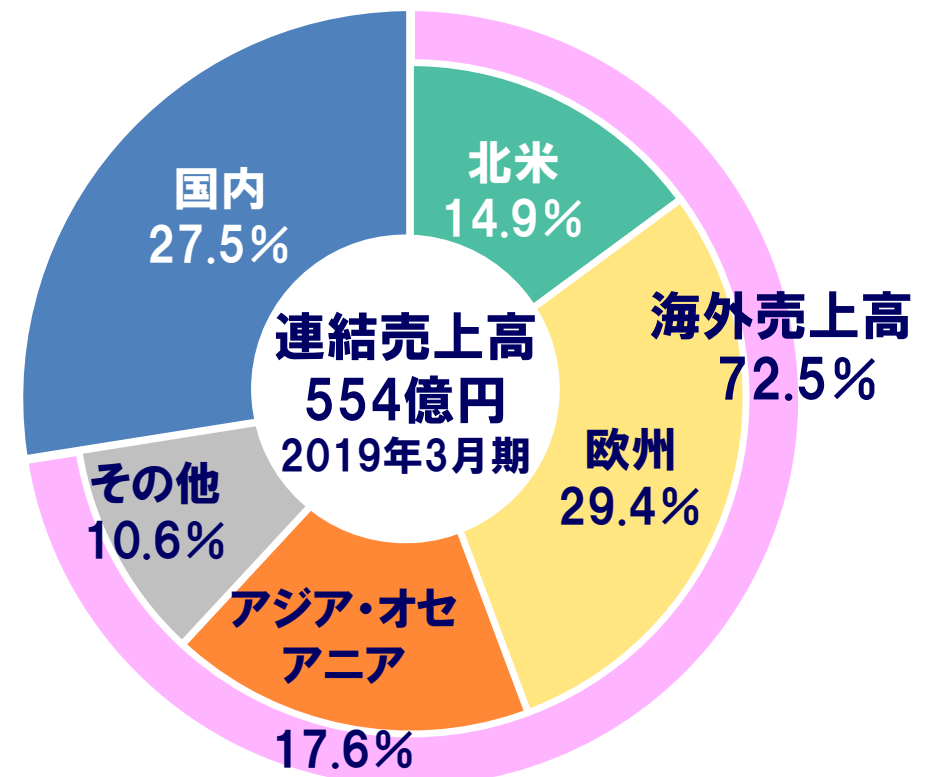
版レス
イニシャルコスト不要
即日プリント可能

3つの販売市場でグローバルに事業展開

3つの販売市場

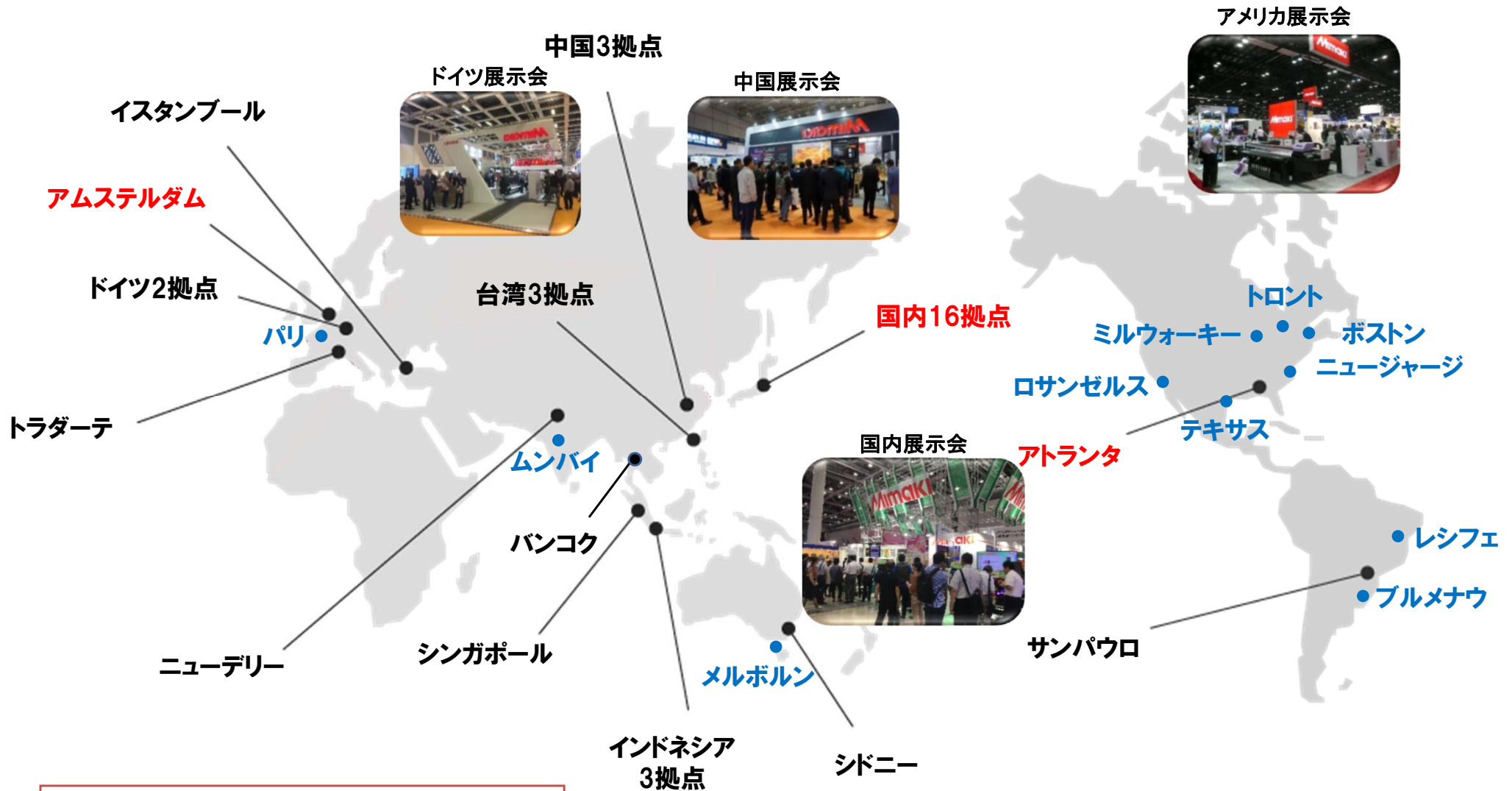


グローバル展開



ミマキブランドを信州から全世界に

拠点を無いエリアは販売代理店を使い、販売実績は**150ヶ国以上**※



エリア統括オフィスの所在地
 アムステルダム・・・欧州・中東・アフリカ
 日本(長野県)・・・日本・アジア・オセアニア
 アトランタ・・・北・中南米

子会社の本社所在地
子会社の主要支店所在地

● 街を彩るビジネスシーンでの活用事例



案内看板
(MWCS)



屋外サイン



アスファルト



壁紙サイン

SG市場 (Sign Graphics/広告・看板)



リットサインージ



ラッピング



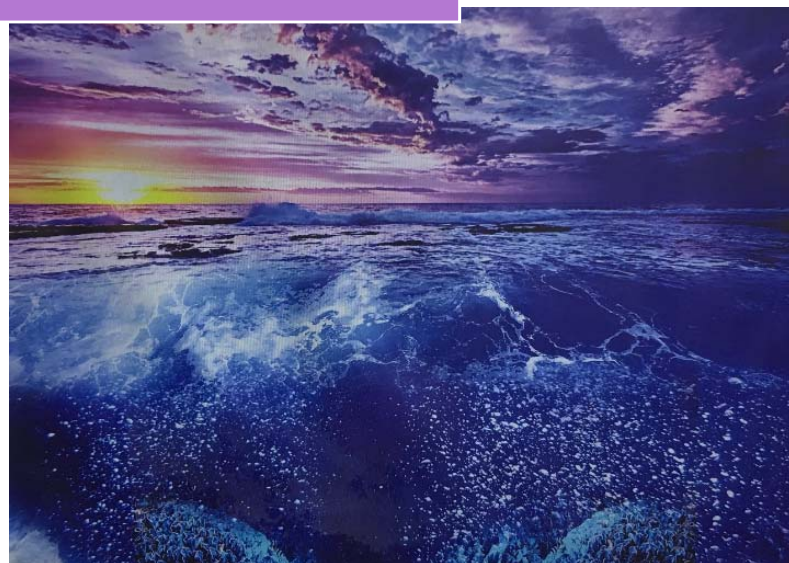
電飾看板



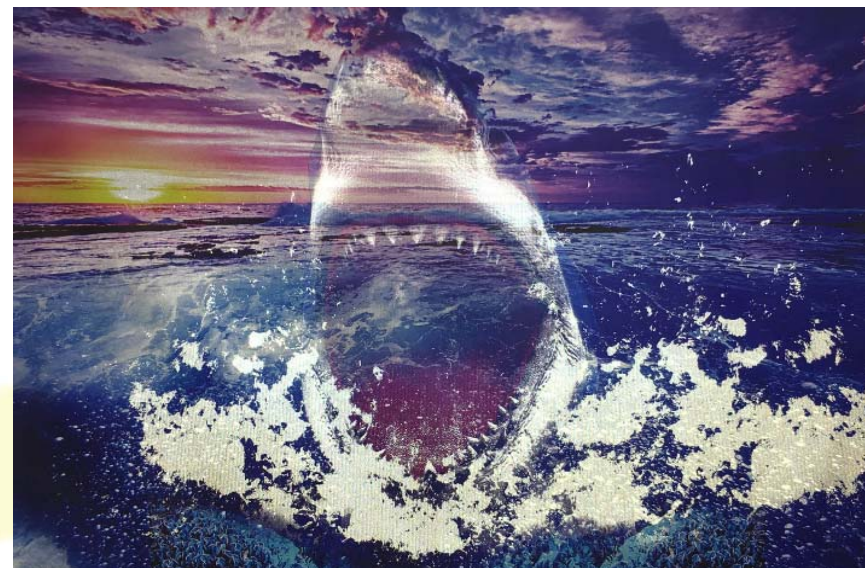
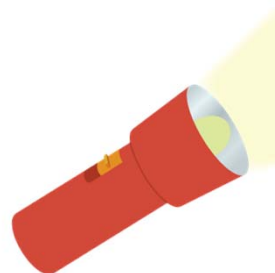
POP



フラッシュプリント



後ろから
光が当たると



4層プリント



● 工業製品やノベルティ等での活用事例



ノベルティ(ボールペン)



時計



カード



メンブレンスイッチ



スマートフォンケース



メーターパネル



銘版



ブレーキ

IP市場 (Industrial Products/工業製品・小物類)



ラベル



タンブラー



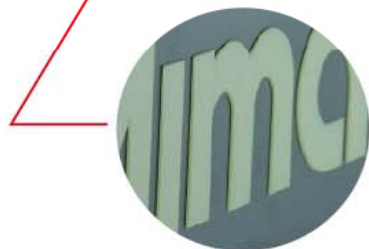
ボトル



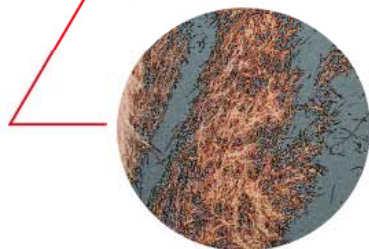
パッケージ

● 付加価値プリント

2.5D プリント

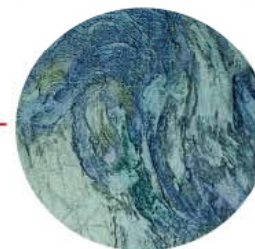
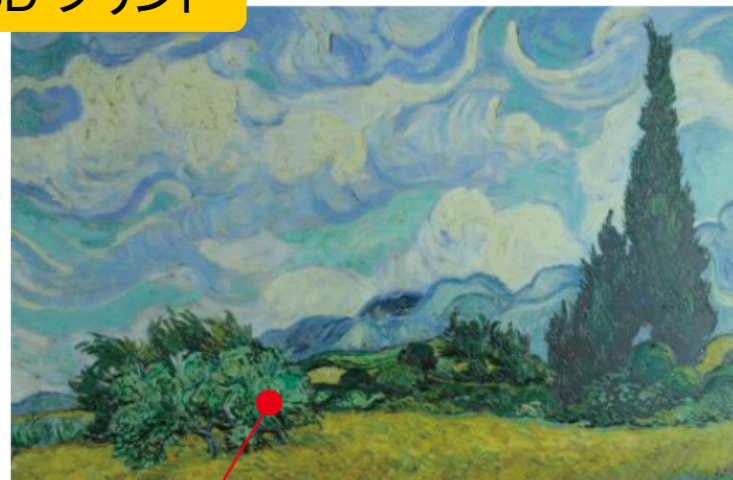


アイキャッチの高い文



触ってみたいくなるようなテクスチャ

2.5D プリント

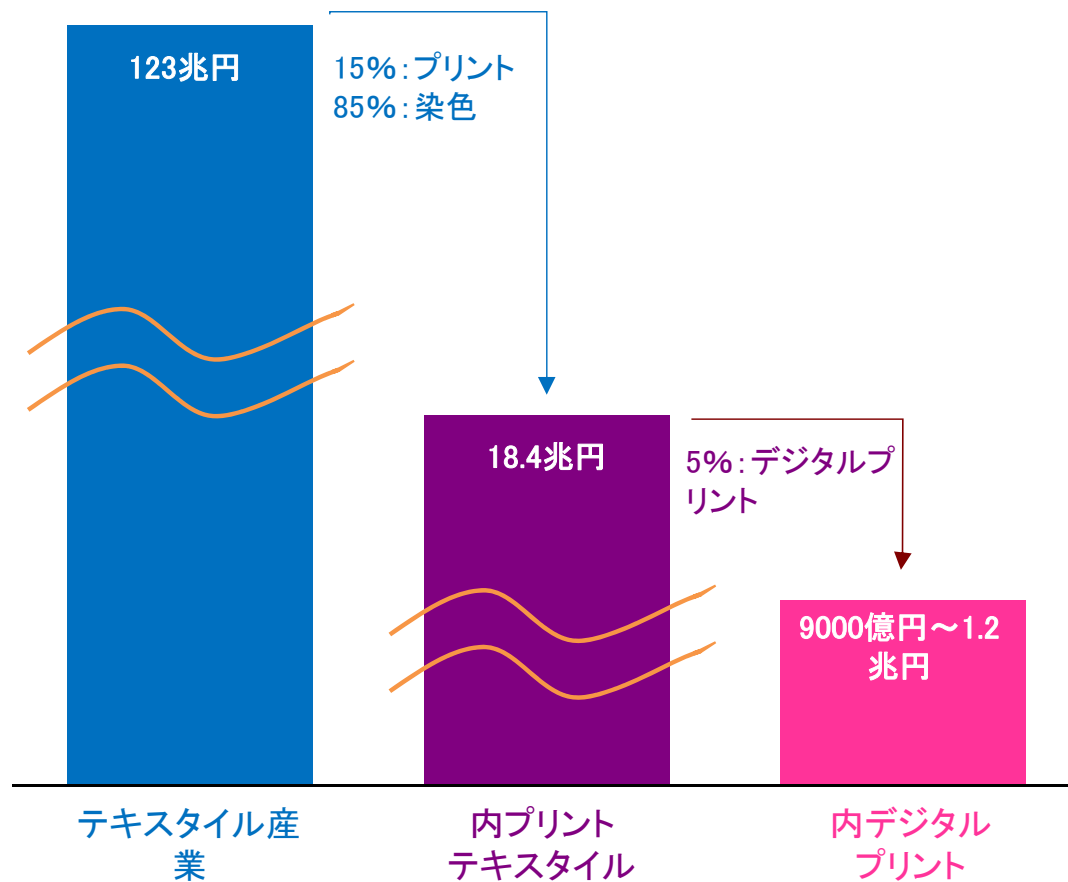


油絵の具の盛りを表現

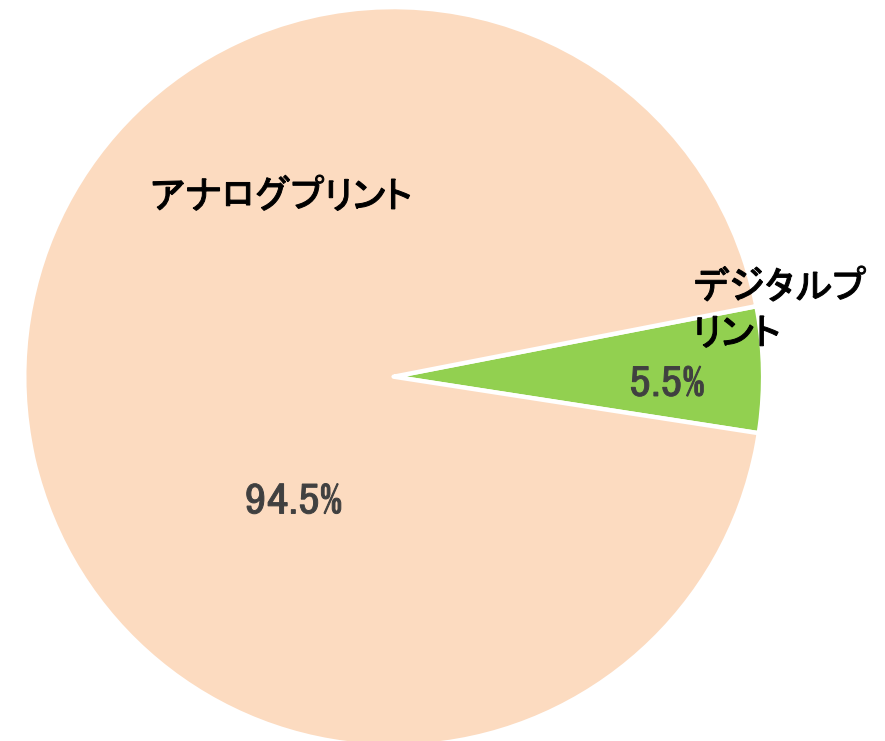
シルバーインク



(1) テキスタイルプリントの推定市場規模 ／2017年ワールドワイド



(2) テキスタイル産業の総生産量 ／2017年ワールドワイド



出所: World Textile Information Network (Printing Industry Research Associationのレポートから推定)

出所: World Textile Information Network

●ファッションアパレル - 裁断・縫製加工前の生地や既製服での活用事例



ドレス



傘



着物



扇子



生地



スカーフ

TA市場 (Textile & Apparel/布地・衣料品)

● ソフトサイン



垂れ幕



フラッグ



●インテリア



クッションカバー



シーツ・
ピローケース



シートカバー



カーテン

● ユニフォーム



サッカーユニフォーム



サイクリングウェア



デザインコート



蛍光色ウェア



フィギュア



医療



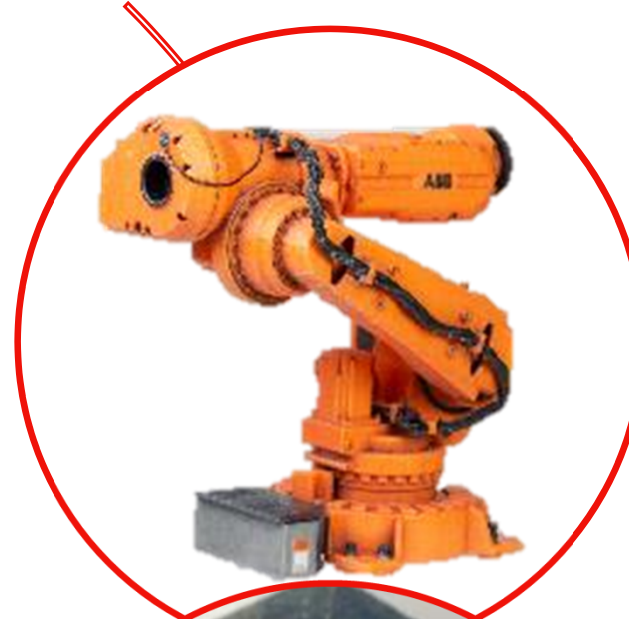
アパレル



3D プリンティング



建築



設計製造



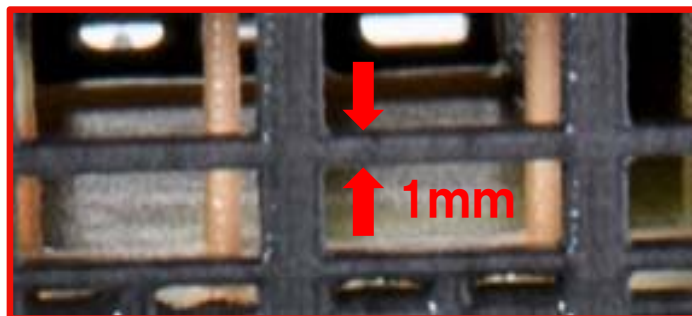
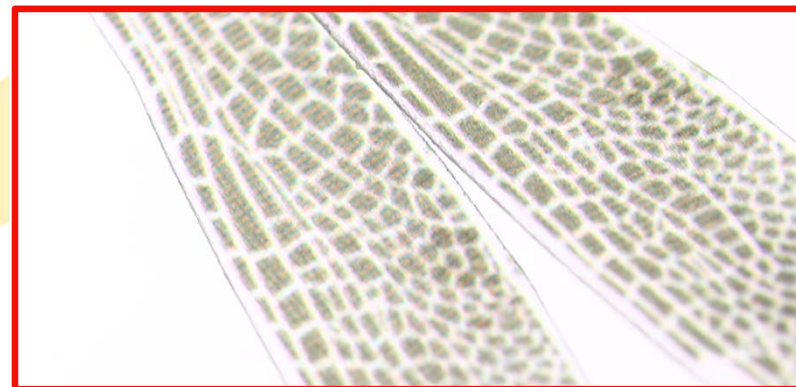
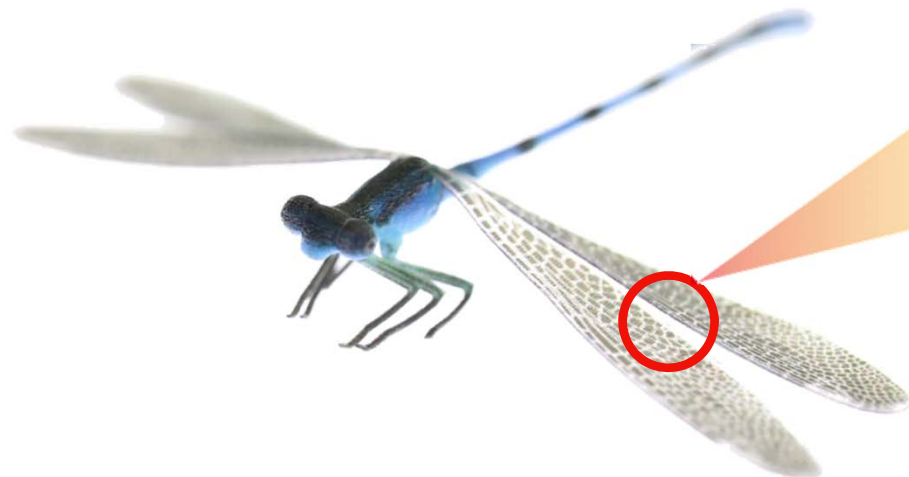
船



地図



薄く繊細な羽を表現

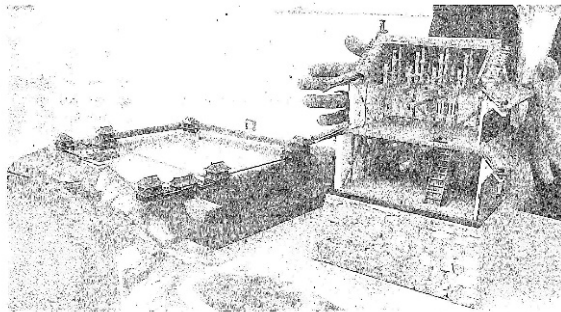


細い欄干も表現



3D プリンティング

3Dプリンタで出力した【上田城跡地形・南櫓の造形物】を上田市へ寄贈



3Dプリンターで作成した上田城の櫓(右)と城跡地の模型

上田市は明治時代に取り扱われた櫓の復元を目指し、櫓に関する資料などの提供を呼び掛けている。模型では現存する櫓3棟に加え、復元を目指す未整備の4棟も再現。同社は、最新技術による話題性も狙った模型により、復元への関心を高める効果を期待しており、「少しでも資料収集に協力できれば」としている。業務用プリンターを主力とする同社は2017年11月、立体物を造形できる3Dプリンター(税別価格1780万円)を商品化。一般的な機種との2倍近い1千平方色を表現できる性能を売りにしている。地域貢献の一環で、今後も文化遺産を模型化したい市町村に協力する方針という。

3Dプリンターで上田城精密に再現

ミマキエンジニアリング(東御市)は、自社製の3D(3次元)プリンターを使って上田城(国史跡上田城跡)の城跡や櫓の模型を作成した。地域の文化遺産を最新の3Dプリンター技術で精密に再現した模型で、櫓の復元を目指す上田市の動きを後押ししようと企画。今月下旬に市に寄贈し、催しでの展示などに活用してもらい、自社の技術力も示す狙いだ。

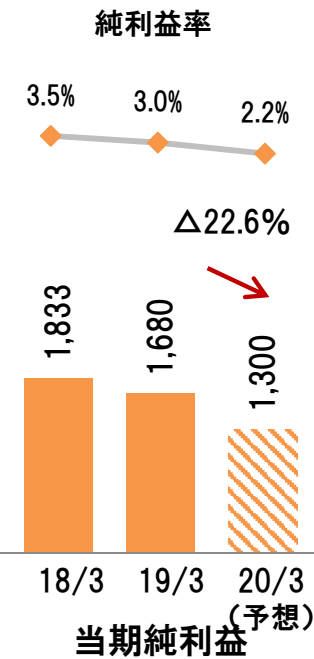
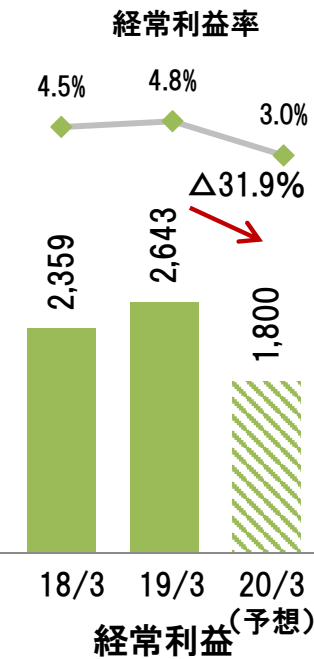
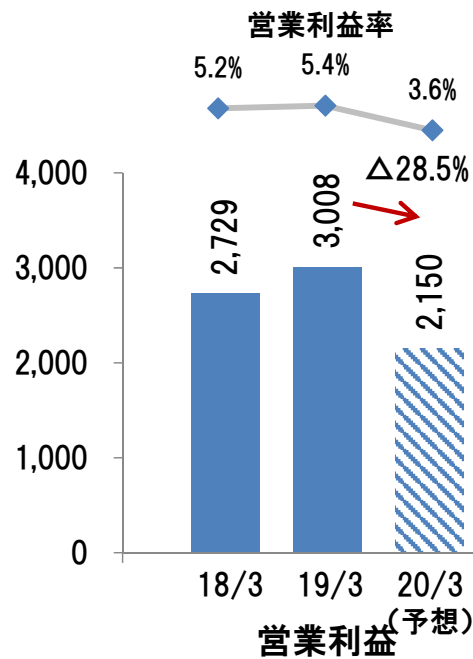
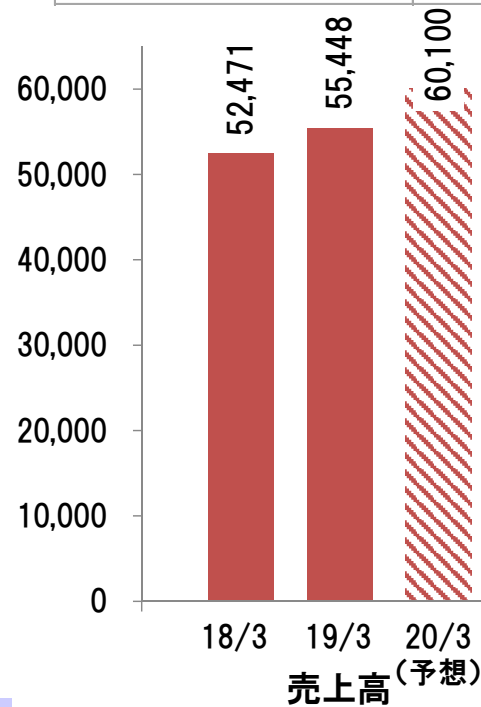
ミマキが市に寄贈へ 復元の動き後押し

城跡の模型は実物の3/78分の1、城の南側にある櫓は55分の1の大きさで再現。市から提供された櫓の図面などから3次元データを作成した上で、紫外線を照射すると硬化するカラインクを一層ずつプリントして造形した。瓦や石垣、木材の色合いや質感も忠実に再現している。



連結業績予想ハイライト (2020年3月期)

(単位:百万円)	2019年3月期(FY18)		2020年3月期(FY19)				為替影響除く 前年増減率
	通期	売上比率	通期	増減額	増減率	売上比率	
■ 売上高	55,448	100.0%	60,100	4,651	8.4%	100.0%	11.0%
■ 営業利益	3,008	5.4%	2,150	△858	△28.5%	3.6%	4.8%
■ 経常利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	2,643	4.8%	1,800	△843	△31.9%	3.0%	
■ 当期純利益	1,680	3.0%	1,300	△380	△22.6%	2.2%	
為替 米ドル	110.91円	-	107.00円	△3.91円	△3.5%	-	-
(期中平均) ユーロ	128.40円	-	122.00円	△6.40円	△5.0%	-	-



中長期ビジョン:M1000 3.0

(単位:億円)

年間売上成長率
5~10%



- }
 保守部品・周辺事業の拡大
- }
 (FA事業)
 ✓ ニッチトップをグローバル展開
- }
 (TA市場)
 ✓ デジタルトランスフォーメーション提案
- }
 (IP市場)
 ✓ ライン組入れ等で市場拡大
- }
 (SG市場)
 ✓ 環境に優しい製品・インクでシェア拡大



SG市場 環境に優しいインク (UVインク)

●環境に配慮した素材(非塩ビメディア)への対応



和紙



布



木材

etc.



- ・UVインクはヒーター不使用のため、消費電力が少ない
- ・インクの原料にVOC物質不使用

➡ 有害物質がほとんど発生しないため、
成果物の安全性が高い&低臭

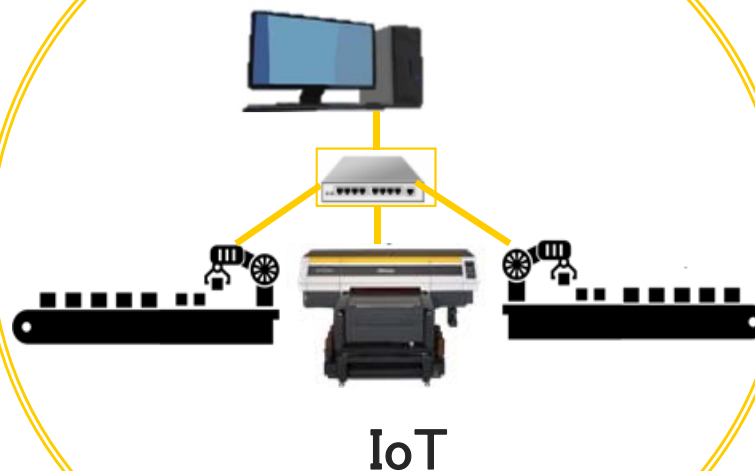
●産業向け

- ・高画質と高速化の両立
- ・省人化・無人化に向けて取り組む
- ・デジタルプリントのIoTを推進

高速



無人化・省人化



カスタマイズ



TA市場 デジタル・オンデマンド生産

従来

ネットで注文



在庫から手配



出荷



ネット注文をデジタル・オンデマンド生産できるソリューション



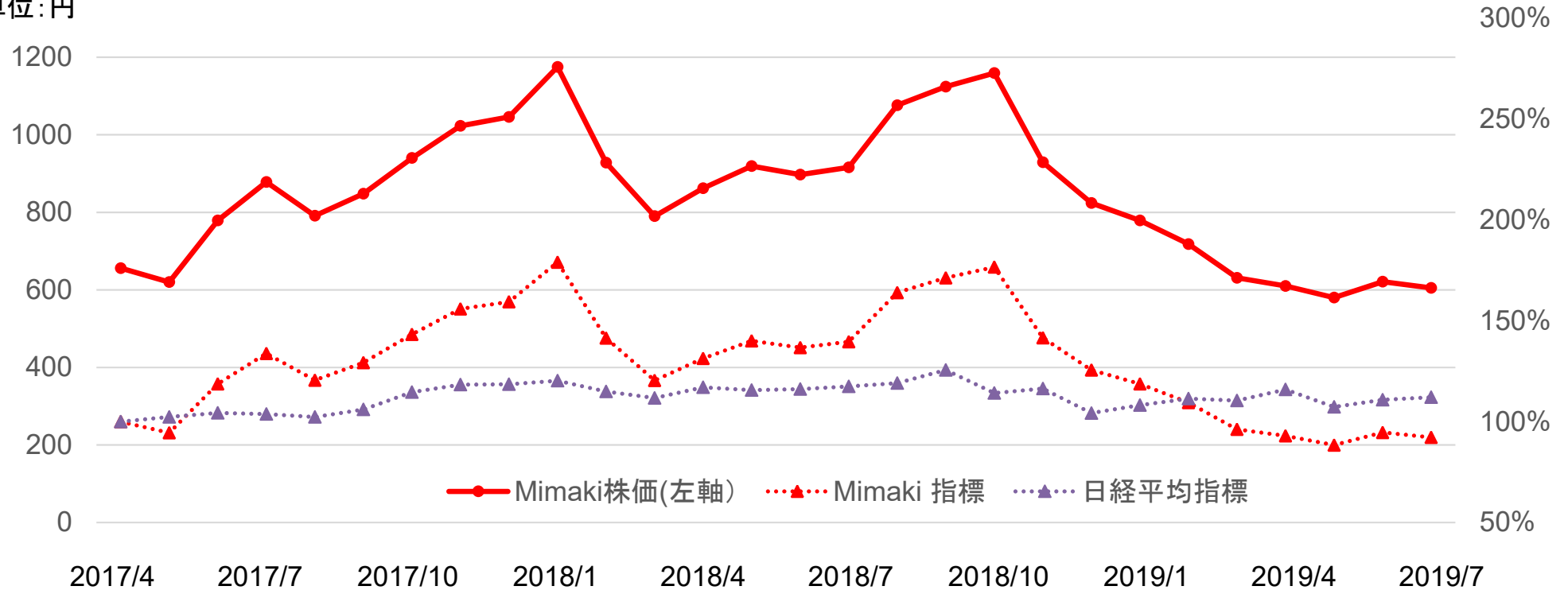
店舗でも作業できる最小設備
→消費地で生産が可能

システムの特長

- 1 版レスなどによる工程短縮
- 2 色合わせ工程のシステム化
- 3 無水
- 4 在庫レス

株価推移

単位:円



5年内
最高値

1,520円
(2014/12/3)

5年内
最安値

383円
(2016/2/12)

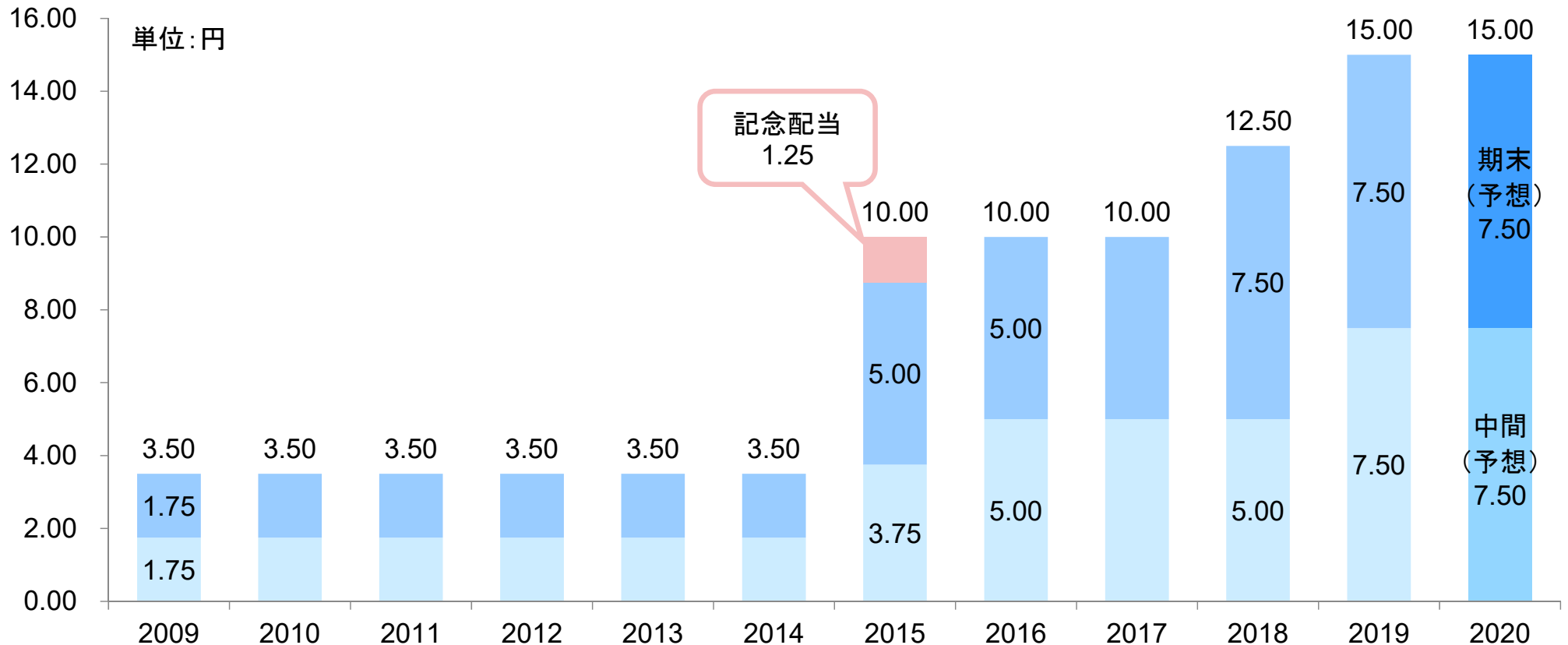
◆ 利益配当の方針

株主への利益還元を経営の重要政策と位置付け、業績の成長に見合った成果の配分を、安定的かつ継続的に行う

◆ 自社株買いの方針

株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に対応する

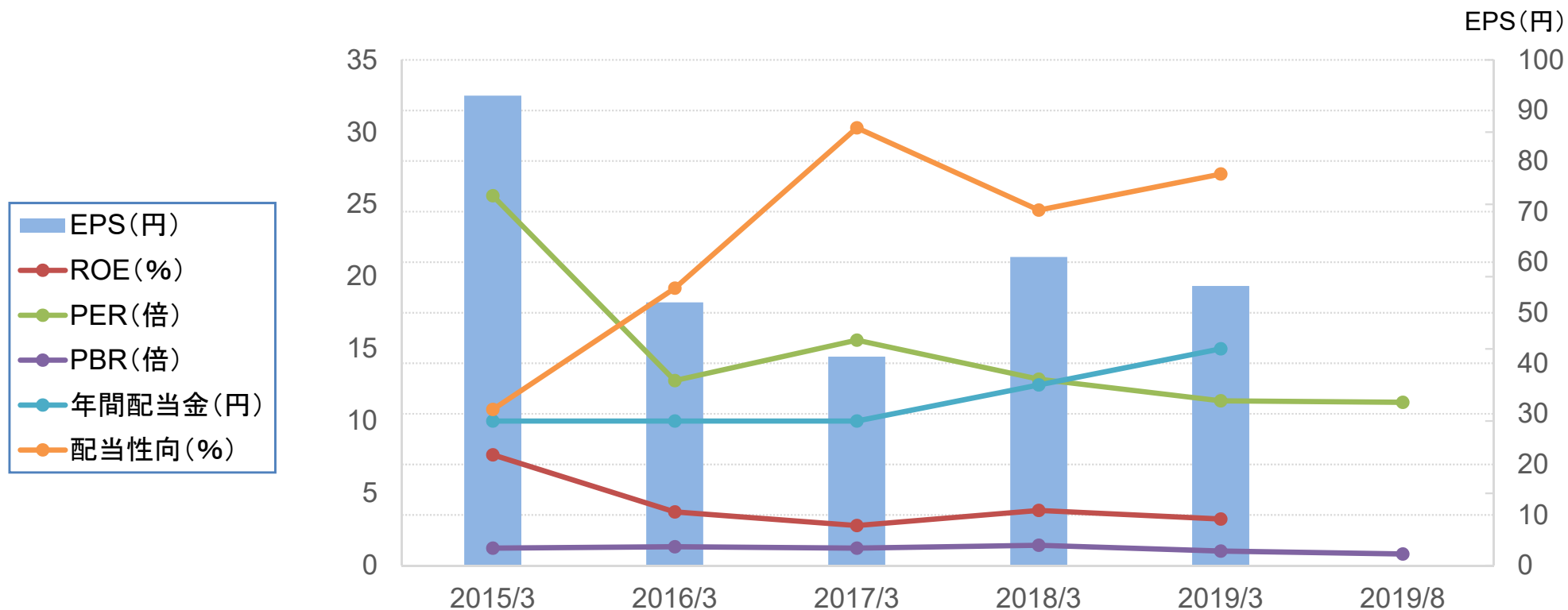
※現在、100万株/10億円を上限とした自己株式取得を実施中(2019/6/17~2020/6/16)



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものであります

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております
(分割前の配当金は訴求修正して表示)

株式関連指標



決算期	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2019/8
ROE(自己資本利益率・%)	21.9	10.6	7.9	10.9	9.2	—
EPS(一株当たり当期純利益・円)	92.94	52.06	41.32	61.05	55.29	—
PER(株価収益率・倍)	25.6	12.8	15.6	12.9	11.4	11.3
PBR(株価純資産倍率・倍)	1.2	1.3	1.2	1.4	1.0	0.8
年間配当金(円)	10.00	10.00	10.00	12.50	15.00	—
配当性向(%)	10.8	19.2	30.3	24.6	27.1	—

〔本資料に関するお問合せ先〕

株式会社 ミマキエンジニアリング

IR広報部

TEL(本社) 0268(80)0058

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。